

株主の皆さまへ

第 31 期 報 告 書

2008年4月1日から2009年3月31日まで



株主の皆さまへ



代表取締役会長

飯本和彦

代表取締役社長

河原洋逸

■ご挨拶

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、金融危機に端を発した世界経済の混乱が各産業に大きな影を落とし、日本経済を牽引してきた輸出が落ち込み、景気が急速に後退しました。

とりわけ、半導体業界におきましては、世界市場全体での急速な在庫調整や価格下落による影響を受け、業界再編に至るまでの大きな打撃を受けております。

こうした経営環境の下、当社グループは半導体メーカーの設備投資抑制による売上高の急減に伴い、大幅な当期純損失を計上するに至りました。

このため、株主の皆さまには大変申し訳ございませんが、当期の期末配当につきましては見送りとさせていただきますことといたしました。

今後につきましては、厳しい環境下においても黒字転換を果たしていくために、役員報酬および従業員給与の大幅カットや工場の操業短縮等、大規模なコスト削減策を実行するとともに、新中期経営計画実現に向け、グループ一丸となって事業基盤の強化に邁進していく所存でございます。

今後とも、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

概況と今後の見通し

当社グループは、2006年4月に策定した中期経営計画「Challenge30」の遂行により、2007年3月期、2008年3月期は当初計画を上回る業績結果を残してまいりました。しかし、最終年度にあたる2009年3月期は世界経済危機に直面し、過去に経験したことのない急激な市場縮小により、ユーザーからの納期先送り要請や受注のキャンセルが相次いだため、売上高115億77百万円（前年同期比141億75百万円、55.0%減）、経常損失36億77百万円（前年同期は経常利益21億25百万円）、当期純損失41億63百万円（前年同期は当期純利益21億18百万円）を計上するに至りました。

今後も世界経済は当面不安定な状況が続くと予想され、半導体業界においても、在庫調整が終了した後の本格的な市況回復時期は、未だ不透明な状況下にあります。

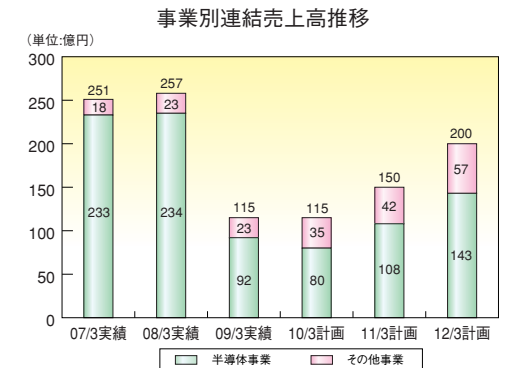
新中期経営計画 「Revitalize “TOWA”」 スタート！



そこで当社では、創立30周年を迎えた2009年4月、この環境下で得られた経験や反省をあらたな経営課題に加え、新しく芽生えた「新技術」、「新ビジネス」を洗練し、さらに大きく成長させるため、新中期経営計画「Revitalize “TOWA”」を策定いたしました。

半導体業界は引き続き厳しい市場環境が想定される一方、LEDや車載品等のパワー系デバイス、太陽電池等の産業分野では、その速度、規模ともに、これまでの水準を上回る伸張が期待されています。

すでに立ち上げに成功したLED事業をさらに発展させることはもちろん、これまで半導体事業で培ってきた「金型関連技術」や「封止技術」を車載品や太陽電池等の分野にも展開し、当社の最先端技術を用いたソリューションを提供することで、事業化を図ってまいります。



また、製造工程の内製化促進や設計業務の見直し等による原価低減により各製品の市場競争力をさらに強化してまいります。

特に今後の主力製品となるコンプレッションモールド装置「PMC」、シンギュレーション装置「FMS」、LED量産用モールド装置「LCM」は、販売促進と同時にコストダウンを図り、圧倒的な市場シェアに加え、高い収益力を併せ持つ製品へと洗練させていく所存です。

新中期経営計画「Revitalize "TOWA"」 基本方針

モノ造りの原点に回帰して、「柔軟性のあるコスト構造」、「市況変動に即応できる生産体制」を築きあげるとともに、お客様のニーズを適時、的確に捉えたグローバルな営業展開を行うことで、常に事業利益を確保する。



環境にも配慮したTOWAの世界最先端技術とソリューション



▲PMC
次世代半導体の量産に最適なモジュール方式を採用。コンプレッションモールド方式により廃棄物の削減など環境にも配慮しています。

また、一括で樹脂封止した半導体パッケージを個片化するシンギュレーション装置においても、さらなるシェアアップを図ってまいります。すでに当社独自のコンセプトと機能を備えた新製品「FMS」の開発を終え、本格的に市場投入してまいるとともに、LEDの切断も対応範囲に加えてまいります。

当社は、従来の「トランスファー方式」に代わる新しい封止技術として「コンプレッション方式」を確立いたしました。従来の封止技術では、半導体パッケージ工程の高度化への対応が難しくなっており、このコンプレッション方式への注目が高まってきております。

昨年末に市場投入したコンプレッション方式を採用したモールド装置「PMC」は、環境性能やコストダウン効果等、多くの面で高い評価をいただいております。



▲FMS
モジュール方式を採用したシンギュレーション装置。カットエンジンとハンドラーを一貫して制御し、高生産性を生み出します。

急拡大するLED市場



▲LCM
TOWAの技術を生かしたLED向けモールド装置。LEDの大量生産に最適な装置です。

「環境」・「省電力」・「長寿命」等の観点からLED化は着実に進んでおり、その市場規模は引き続き成長を続けています。すでにノートパソコンでは液晶画面のバックライトにLEDを採用したモデルが多数販売されており、今後は地上波デジタル化の特需に向けて、バックライトにLEDを採用した液晶テレビが本格的に市場投入される見込みです。LEDの量産によるコストダウン効果により、LED市場の成長スピードは、さらに加速されるものと考えられます。

当社は、このLED事業を「重点戦略事業」と位置付け、生産量の変化に柔軟に対応できる量産向け装置「LCM」を市場投入いたしました。

プライベート・ショー2008を開催

2008年11月17日～12月12日までの4週間、本社工場にて、プライベート・ショーを開催いたしました。

世界的な景気後退により製造業を中心に、取り巻く環境が一段と厳しさを増していた中、国内外から多くのユーザーの皆さまにご来場いただきました。

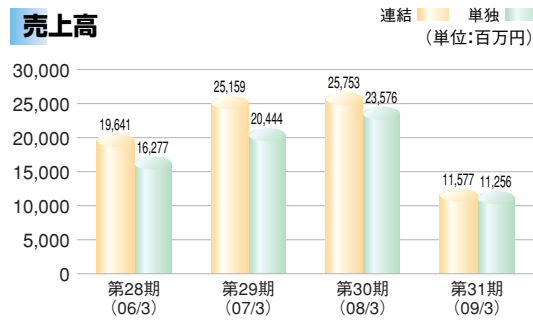
当社の技術に対する期待も大きく、技術開発動向や取り組みに対してご理解と高い評価をいただくことができました。



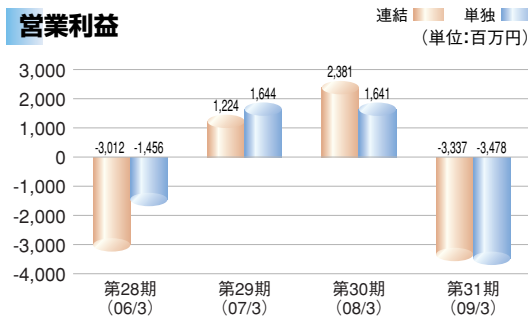
当社は新中期経営計画「Revitalize "TOWA"」を遂行し、株主さまをはじめとするステークホルダーの方々、そしてお客さまに、一層の信頼とご満足をいただける「TOWA」を目指して、全力で取り組んでまいります。

業績の推移

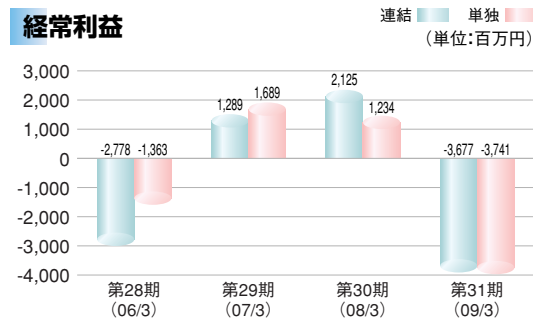
売上高



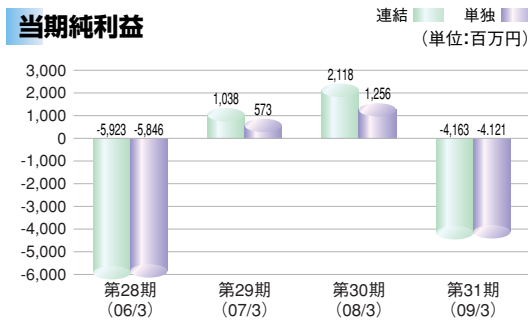
営業利益



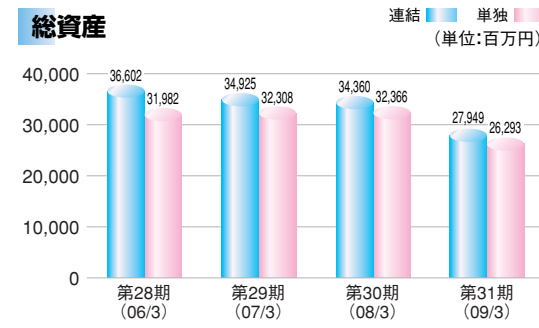
経常利益



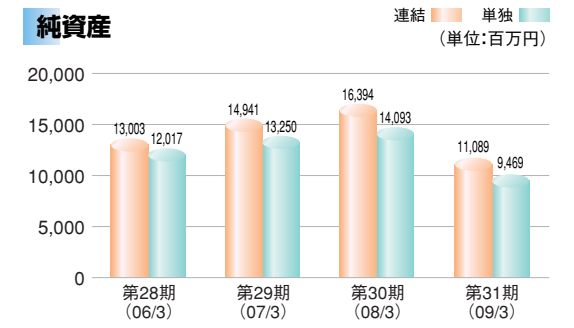
当期純利益



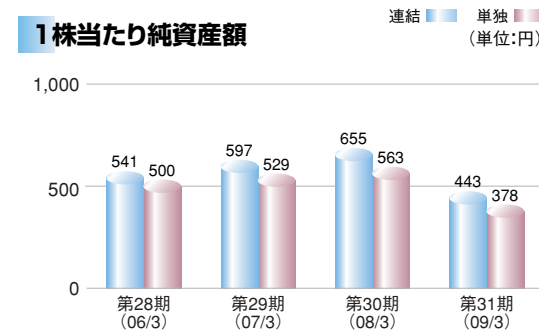
総資産



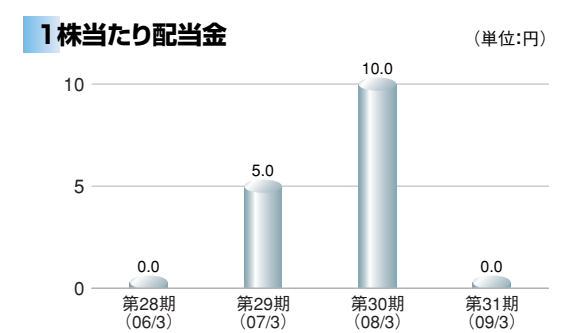
純資産



1株当たり純資産額

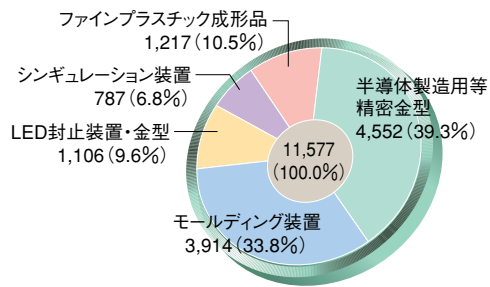


1株当たり配当金

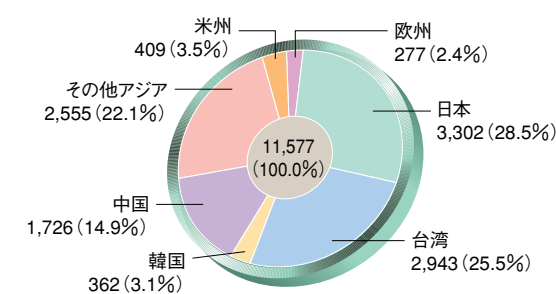


[セグメント別連結売上高(第31期)]

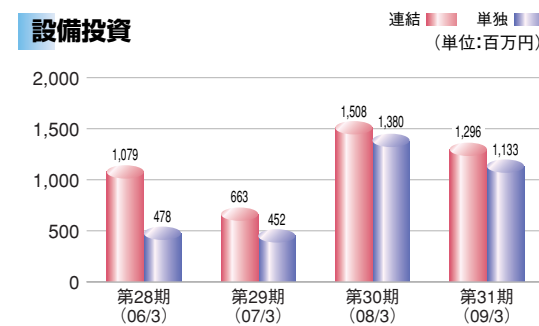
製品別 (単位:百万円)



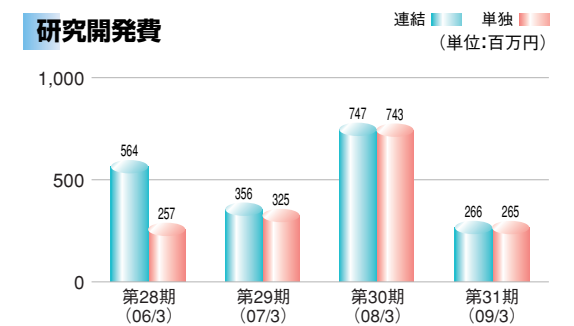
地域別 (単位:百万円)



設備投資



研究開発費



業績の推移

決算概要

連結貸借対照表 (2009年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	12,804
現金および預金	4,399
受取手形および売掛金	3,313
たな卸資産	4,871
その他	220
固定資産	15,145
有形固定資産	11,371
建物および構築物	4,644
土地	4,360
その他	2,366
無形固定資産	1,440
投資その他の資産	2,332
資産合計	27,949

(注) 当期の連結子会社は12社、持分法適用会社は4社であります。

連結損益計算書

(2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	11,577
売上原価	10,680
売上総利益	897
販売費および一般管理費	4,234
営業損失	3,337
営業外収益	112
営業外費用	452
経常損失	3,677
特別利益	62
特別損失	444
税金等調整前当期純損失	4,060
法人税、住民税および事業税	26
法人税等調整額	76
当期純損失	4,163

科目	金額
【負債および純資産の部】	
流動負債	12,548
支払手形および買掛金	548
短期借入金	8,653
その他	3,345
固定負債	4,311
長期借入金	2,954
その他	1,357
負債合計	16,859
株主資本	11,571
資本金	8,932
資本剰余金	3,115
利益剰余金	△ 468
自己株式	△ 7
評価・換算差額等	△ 481
その他有価証券評価差額金	82
為替換算調整勘定	△ 563
純資産合計	11,089
負債・純資産合計	27,949

連結キャッシュ・フロー計算書

(2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,972
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 39
現金および現金同等物の増減額	1,048
現金および現金同等物の期首残高	3,351
現金および現金同等物の期末残高	4,399

連結株主資本等変動計算書 (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2008年3月31日 残高	8,932	3,115	3,921	△ 7	15,961
連結会計年度中の変動額					
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			23		23
剰余金の配当			△ 250		△ 250
当期純利益			△ 4,163		△ 4,163
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 4,390	△ 0	△ 4,390
2009年3月31日 残高	8,932	3,115	△ 468	△ 7	11,571

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
2008年3月31日 残高	333	99	432	16,394
連結会計年度中の変動額				
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減				23
剰余金の配当				△ 250
当期純利益				△ 4,163
自己株式の取得				△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△ 251	△ 663	△ 914	△ 914
連結会計年度中の変動額合計	△ 251	△ 663	△ 914	△ 5,304
2009年3月31日 残高	82	△ 563	△ 481	11,089

会社の概要

商号 TOWA株式会社
(英文名TOWA CORPORATION)
設立 1979年4月17日
資本金 8,932,627,777円
本社所在地 京都市南区上鳥羽上調子町5番地
☎(075) 692-0250 (代表)
従業員数 490名
役員 (2009年6月26日現在)
代表取締役会長 坂東和彦
代表取締役社長 河原洋逸
取締役専務執行役員 西村永和
取締役常務執行役員 岡田博和
取締役執行役員 福富誠司
取締役執行役員 大崎清司
執行役員 岩下昌生
執行役員 小西久二
常勤監査役 白山勉
監査役 杉山公律
監査役 梅山克啓
ホームページ <http://www.towajapan.co.jp>
上場取引所 東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会 毎年6月
基準日 株主総会権利行使および期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市北区曽根崎二丁目11番16号
みずほ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部
郵便物の郵送先 〒168-8507東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話お問合せ先 ☎0120-288-324 (フリーダイヤル)
単元株式数 100株
公告方法 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.towajapan.co.jp>)

！ご注意！
特別口座に登録されている株式は、単元未満株の買取以外の株式売買ができません。
特別口座をお持ちの株主さま、株券電子化前に名義書換をされていないご本人名義以外の株券をお手元にお持ちの株主さまは、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社にお申し出ください。

株式の状況 (2009年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 25,021,832株
- 株主数 10,452名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
坂東和彦	2,045千株	8.2%
(有) ケイビー恒産	2,000	8.0
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	1,671	6.7
(株) 京都銀行	699	2.8
資産管理サービス信託銀行(株)	664	2.7
山田矩規子	584	2.3
(有) ケイビーテクノ	500	2.0
山田静(株)	385	1.5
大阪証券金融(株)	316	1.3
メロンバンクmtreeクワイアツオムニバス	280	1.1

(注) 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)および資産管理サービス信託銀行(株)の持株数は、下記株主名義の所有株式数の合計でもって表示しております。
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口4G) 950,000株
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口) 632,600株
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口4) 89,000株
資産管理サービス信託銀行(株) (年金信託口) 307,800株
資産管理サービス信託銀行(株) (信託A口) 196,300株
資産管理サービス信託銀行(株) (証券投資信託口) 132,000株
資産管理サービス信託銀行(株) (年金特金口) 20,600株
資産管理サービス信託銀行(株) (信託B口) 6,800株
資産管理サービス信託銀行(株) (金銭信託課税口) 1,000株

TOWAグループ

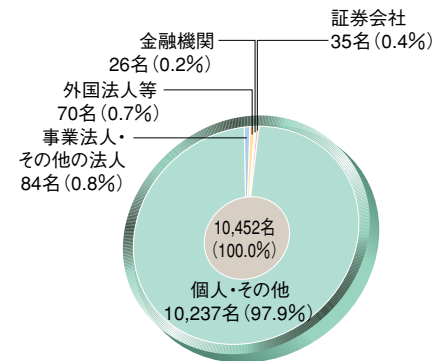
国内

TOWA株式会社
本社・工場
京都東事業所
坂東記念研究所榎島分室
九州事業所
東京営業所
株式会社バンディック
TOWATEC株式会社
TOWAサービス株式会社
株式会社サーク

海外

TOWA Asia-Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)
TOWAM Sdn. Bhd. (マレーシア)
TOWA Semiconductor Equipment Philippines Corporation (フィリピン)
TOWA America Corporation (米国)
TOWA Europe GmbH (ドイツ)
東和半導体設備(上海)有限公司 (中国)
上海沙迪克軟件有限公司 (中国)
TOWA半導体設備(蘇州)有限公司 (中国)
蘇州STK鑄造有限公司 (中国)
台湾東和半導体設備股份有限公司 (台湾)
巨東精技股份有限公司 (台湾)
SECRON Co., Ltd. (韓国)
株式会社東進 (韓国)

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布

